新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	腹膜透析関連抗酸菌感染症に関する後方視的研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2012 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日にかけて、新潟大学医歯学総合病院で腹膜透析を受けていた患者さんのうち、抗酸菌による腹膜透析関連感染症を発症した患者さん(18 歳以上)	
③概要	
腹膜透析関連感染症（カテーテル出口部感染、皮下トンネル感染、腹膜炎)は腹膜透析カテーテルの抜去だけでなく、腹膜透析継続が難しくなり、場合によっては死亡することのある合併症です。中でも抗酸菌が原因となるものは稀であるため、治療指針が定まっていません。	
④申請番号	2024-0021
⑤研究の目的・意義	抗酸菌による膜透析関連感染症患者さんの臨床所見、検出菌、治療法および転帰を明らかにします。また治療や予後に影響を与える因子についても検討します。こうした疫学データは本疾患の治療指針を定める上で重要な情報になります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	腹膜透析関連感染症を発症した患者さんのうち、培養検査で抗酸菌が検出された方が対象です。電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、培養検査結果を利用させていただきます。また、患者さんから得られた血液を分析しますが、検査の際に余った検体を使用する場合があります。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	電子カルテに保存されている患者さんの年齢、性別、病歴、治療内容、培養検査の結果、血液検査の結果を利用します
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター　助教　番場祐基
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 高次救命災害治療センター　助教　番場祐基
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学医歯学総合病院　高次救命災害治療センター 氏名：番場祐基 Tel：025-368-9325 E-mail：ybamba @med.niigata-u.ac.jp